

# 雲北陵月報

No. 423

令和2年11月30日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷

## コロナ禍の中で躍動する北陵中高生

### 吹奏楽部

#### 第26回日本管楽合奏コンテスト 全国大会最優秀賞受賞

去る11月8日(日)、本校としては6年ぶり4度目の出場となった標記大会が開催された。本年はコロナ禍ということで、動画配信による審査となった。

厳しいスケジュールの中、生徒達は3年生を中心に精一杯の努力をして録画に臨み、できうる限りの演奏をすることができた。

結果、高等学校B部門において上位12校に贈られる最優秀賞を受賞することができた。

これもひとえに地域の方々のご支援はもとより、日頃から温かいサポートをいただいている保護者、卒業生の皆様のお蔭と部員一同感謝しております。

今後とも地域に愛されるバンドを目指し、精進していきたい。



### 中学3年英語研修 (イングリッシュキャンプ)

#### 初のバーチャルホームステイ



11月4日(水)～6日(金)の日程で英語研修(イングリッシュキャンプ)を実施。参加者は中学3年生21名。本研修を企画いただいた株式会社アイエスエィよりアメリカ人のジョン先生を講師としてお招きした。ワークブックやプロジェクトを用いての楽しいアクティビティのほか、オンラインでニュージーランドのホストファミリーと交流する初のバーチャルホームステイに取り組むなど、普段味わえない体験することができた。また、ジョン先生によるア

アあふれるコミュニケーションによって、英語が苦手な生徒も楽しむことができた。英語漬けの3日間であったが、生徒からも「あつという間に時間が過ぎた」という声があがるくらい、充実した研修となった。これをきっかけに生徒達の海外への興味関心がより高まった。



### 家庭科研究部

#### スイーツコンテスト最優秀賞

11月3日(火)「出雲ぜんざいを使った新ご当地スイーツコンテスト」の2次審査が行われ、和田守芽衣(21類)の作品「大好き出雲♡抹茶あずきムース」が最優秀賞に選ばれた。



この作品は、あずき餡が苦手な方にも味わっていただけるよう工夫されたものであり、イオンモール出雲内の「雲州洋菓子メモリー」にて商品化され、期間限定で販売されることが決定した。このような機会を与えていただいたことに感謝し、今後も活動に励んでもらいたい。

### 卓球部

#### 令和2年度島根県高等学校新人卓球大会

時 10月30日～11月1日  
於 鹿島総合体育館

#### 団体戦優勝(4年連続11回目) 中国選抜大会へ出場

- 【決勝リーグ】
- 本校 3-0 松江南
- 本校 3-0 松江工業
- 本校 3-0 出雲西
- 本校 3-1 明誠
- 本校 3-1 松徳学院

### 個人戦優勝

- 優勝 原田哲多(24北校)
- 第2位 杉浦大和(1北校)

#### ○大会総評

団体戦、個人戦ともに優勝することができたが、全国大会で勝ち上がるために

はまだ技術の正確性や安定性が足りない。日々の練習で課題を克服していきたい。

(顧問 古瀬泰之)



団体戦優勝メンバー



シングルス優勝  
の原田選手

### ソフトテニス部

#### 令和2年度島根県高等学校ソフトテニス新人戦

時 10月23日～25日  
於 石見海浜公園テニスコート

#### 団体戦準優勝 中国選抜大会へ出場

- 2回戦 本校 3-0 松江高専
- 準々決勝 本校 2-0 出雲
- ベスト4リーグ
- 本校 3-0 出雲工業
- 本校 2-1 安来
- 本校 1-2 松江工業

### 個人戦 5ペアが上位大会へ進出

- 3位 神田好太郎(22類)・岩崎遥平(15出)
- B8 川角悠太(11社)・江角虎哲(14出)
- B16 木村蔵人(13類)・青木快生(14出)
- B16 高橋拓真(13類)・陰山晃成(12類)
- B32 野津広人(23補)・日野椋太(24社)

#### ○大会総評

新チームでの初めての団体戦であったが、苦しみながらも決勝まで進むことができた。スコア上はあと一歩であったが、内容的に改善しなくてはならない部分が多かった。中国選抜に向けて意欲、技術、チーム力の向上を図っていきたい。

(顧問 佐々木雄志)

### バスケットボール部

#### 男女とも第3位

令和2年度島根県高等学校バスケットボール選手権大会  
兼 ウィンターカップ2020 島根県予選会  
時 10月30日～11月1日  
於 カミアリーナ

【男子】  
2回戦 本校 122-136 島根中央  
準々決勝 本校 92-91 浜田  
準決勝 本校 89-91 松江西  
第3位

○大会総評  
全国大会出場を目指し今大会に臨んだが、残念ながら3連覇を達成することができなかった。準決勝の松江西戦では、前半リードを許す展開となり、後半に追い上げ何とか逆転したものの、最後のプレーでシュートを決められ惜敗した。3年生にとっては最後の全国大会出場のチャンスであったが、あと一歩及ばなかった。最後になりましたが、校長先生をはじめ、保護者の皆様、その他たくさんの方から多くのご声援をいただき誠に有難うございました。(顧問 手島幹人)

#### 【女子】

2回戦 本校 66-66 松江農林  
準々決勝 本校 66-84 松江東  
準決勝 本校 66-84 松徳学院  
第3位

○大会総評  
松江農林戦では、相手チームに好きなようにプレーされ、自分達の本来の力を発揮することができなかった。松江東戦では序盤固さが見られたが、後半思い切りのいいシュートを打ち、点差をつけ勝利することができた。続く松徳学院戦では疲れからか苦しい場面が続く、その局面を脱することができなかった。この冬しっかりと走りこみたい。当日は保護者の皆様から応援いただき、有難うございました。(顧問 篠原勝利)

### サッカー部

第99回全国高校サッカー選手権大会島根県大会  
時 10月23日  
於 松江南高校グラウンド

1回戦 本校 0-0 松江南  
0-1 3-6  
○大会総評  
今年度は総体がなくなり3年生は気持ちが悪く、ほとんどの部員が残りが、最後の大会に出場してくれなかったことを誇りに思う。結果は残念であったが、それぞれが思いを込めてこの大会に参加したことで得たものを、今後の人生に生かして欲しい。1・2年生は3年生の思いを忘れずに、次の新人戦に向けて練習に励んで欲しい。最後になりましたが保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご声援をいただき、有難うございました。(顧問 鈴木雄介)

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出雲・雲南の2ブロックに分かれての開催となった。出雲ブロックには7校、73名の美術部員が集まり、油絵や水彩で風景画に取り組んだ。今年初めての行事ということもあり、参加者は張り切った作品に取り組んでいた。作品も優れたものが多く、本校からは17名が入選した。



本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出雲・雲南の2ブロックに分かれての開催となった。出雲ブロックには7校、73名の美術部員が集まり、油絵や水彩で風景画に取り組んだ。今年初めての行事ということもあり、参加者は張り切った作品に取り組んでいた。作品も優れたものが多く、本校からは17名が入選した。

### 出雲地区絵画コンクール

時 10月23日  
於 出雲大社

### テニス部

#### 全国選抜高校テニス県予選

時 10月31日  
於 天津中央公園

1回戦 本校 2-3 平田  
○大会総評  
人数不足のため、全5試合で2敗から始まる背水の陣で臨んだ。残念ながら初戦で敗退したが、参考試合を含め良いテニスをし、成長の跡も見られた。次の団体戦となる県総体では、上位を目指し頑張りたい。(顧問 石川剛巨)



### インターアクトクラブ

#### 高瀬川クリーン作戦

時 11月8日  
於 出雲市内高瀬川流域



出雲南ロータリークラブが主催する「高瀬川クリーン作戦」があり、インターアクトクラブ生徒8名が参加した。上流で川の水を止めて、足首くらいまで水位が下がったところで、川底清掃をした。空きビン、空き缶、乾電池などの小さなゴミから、流木、壊れた傘、衣類といった大きなゴミまで、2・3キロほどの清掃区域の中で多くのゴミが集まった。毎年恒例の活動であるが、ゴミの量は徐々に少なくなってきたように思う。2時間ほどの活動だったが、終えた時は気分も清々しくなった。

### 吹奏楽部

#### マーチングステージ2020「秋、マーチング」

時 10月25日  
於 カミアリーナ

このコンサートは、毎年行われているマーチングコンテストの代替として開催され、県内の高等学校5校が出演した。本校は、「スペイン」をテーマにした委嘱作品である「アルマ・エスパニョーラ(スペインの魂)」と、ミュージカル「キヤッツ」の2曲のマーチングに取り組んだ。

「アルマ・エスパニョーラ」は本年のコンテストに臨む予定であった作品で、約2週間程度という短い練習時間であったが、生徒達はよく努力し、気持ちのこもった素晴らしい演奏演技で会場を魅了した。当日ご来場いただき応援いただきました皆様、いつも支えていただいている保護者・卒業生の皆様に厚くお礼申し上げます。

### 第26回出雲北陵高等学校 英語レシーションコンテスト

時 11月3日  
於 本校中高校棟



出雲市立第三中学校の皆さん

史上初のリモート開催となった今年度のレシーションコンテストであったが、参加者の皆様のご理解とご協力もあり、無事開催することができた。来賓・審査員の先生方にも大変お世話になり、感謝している。結果は次の通り。  
\*団体賞(出雲市長杯)  
出雲市立第三中学校  
\*個人賞  
【最優秀賞】  
小学校の部 吉川 吟 (湖陵小2年)  
中学校の部 長野サユリ (出雲三中3年)  
【優秀賞】  
小学校の部 小玉心遥 (西野小5年)  
中学校の部 春木菜々子 (鳥大附属9年)  
深田佳菜乃 (加茂中3年)  
渡邊絵麗奈 (大社中3年)

【奨励賞】  
小学校の部 吾郷和柊 (湖陵小4年)  
山田陽菜乃 (北陽小4年)  
阿式 優 (浜山中2年)  
稲毛マイナ (出雲三中1年)  
片岡瑞彩 (鳥大附属8年)  
来海帆花 (向陽中2年)  
田部誓一 (木次中2年)



小学校の部受賞者の皆さん



中学生の部受賞者の皆さん

### 企業ガイダンスを開催

11月9日(月)、高校2年生を対象とした企業ガイダンスを行った。地元企業25社に来校していただき、生徒達は興味のある職種の説明を聞いた。就職・進学希望に関わらず、地元で活躍する企業の仕事を知ることが、大変有意義なものとなった。



### 避難訓練

10月28日(水)、避難訓練を実施した。コロナウイルス感染症拡大防止の観点から雨天時は中高別に集合し、避難確認後は各教室へ戻って放送で講習会を行うなど、何通りも計画を立てていたが、無事にグラウンドへの全校避難で済められた。避難に要した時間も例年に比べて短く、生徒の意識が感じられる充実した訓練となった。

### 公開授業(新任者研修)

10月30日(金)、齋藤茉莉花先生(中学1年 音楽)による公開授業が行われた。公開授業は、教科、学年等の垣根を越えて、授業展開及び技術・工夫など、授業力の向上に向けて教科指導を研鑽する目的で、毎年実施されている。



齋藤先生は緊張感を持ちながらも、若さあふれる授業を展開された。多くの先生方に参観いただき、放課後には授業者を交えて講習会を開き、意見交換した。

### SKYMENUクラウド研修会

日 程…10月27日  
講 師…Sky株式会社  
文部科学大臣から発信された「子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けて」としての1人1台端末環境にもあるように、今後、ICT教育は必須となることは間違いない。目の前に迫っているその時に向けて、より良い指導のためにSky株式会社より講師を招き、研修会を実施した。研修会ではタブレット端末を実際使用しながら、実践的な説明を受け、大きな可能性を感じることができた。



(担当 鈴木雄介)

### 中学校

#### 卓球部

令和2年度出雲地区中学校新人卓球大会  
時 11月11日  
於 松江市総合体育館

〈男子団体〉第2位  
〈男子個人〉  
優勝 小野泰和(中2観)  
ベスト8 濱田都希(中2財)

ベスト16 田中悠斗(中2財)  
大会総評

結果、団体戦に加え個人戦でも2名が県大会への出場権を獲得した。今後は県大会で優勝できるように頑張りたい。(顧問 相場翔太)

### バスケットボール部

令和2年度出雲地区中学校新人バスケットボール大会  
時 11月12・13日  
於 斐川第一体育館

【女子】  
本校 45-56 六道  
○大会総評  
序盤から幾度もチャンスがありながら、それをものにできず、苦しい展開となった。後半粘りをみせたが、前半の点差を詰めることができず、試合終了となった。この悔しさを忘れず、この冬しっかりと練習に励みたい。(顧問 篠原勝利)

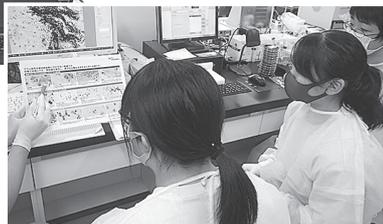
### 中学2年生合同礼法

10月28日(水)、中学2年生を対象に、井上教諭による合同礼法を行った。礼や挨拶といった基本的な動作や、11月に実施した職場体験学習に向けての心構えを改めて指導していただいた。生徒の感想の中には、「普段は相手の立場を考えた行動や言動を心がけ、挨拶や礼などを当たり前のようにできるようにしたい。そのようなことを学校生活でも意識していきたい。」「コロナ禍の中で職場体験をさせていただけることがどれだけ有難いことかを改めて実感し、感謝の気持ちが湧いてきた。」という言葉があった。礼儀作法や職場体験学習へ向けた心構えはもろろんのこと、日頃の学校生活の大切さも学んだ良い機会となった。

### 中学2年生職場体験学習

11月6日(金)、出雲市内21事業所のご協力により職場体験学習を実施した。体験に向けて、1学期末から興味がある職業や業種を調べることから始めた。体験先が決まってからは、職場の事前調べや体

験依頼の電話、事前打ち合わせを行った。体験当日は、普段と異なる環境に不安一杯の生徒達であったが、職場の皆様の温かなご指導のもと最後までやり遂げることができた。改めて働くことの大変さ、厳しさを肌で感じた。将来の職業選択に生かせることはもちろん、社会の一員として必要なことを学ぶことができた。お世話になった事業所の皆様へ感謝申し上げます。



島根医大病院にて



プロビズモにて

### 中学1年生ふるさと学習

11月6日(金)、中学1年生19名がふるさと学習の一環として大社町に出かけた。一畑電鉄で出雲大社駅まで移動し全員で島根県立古代出雲歴史博物館を見学した後、3班に分かれて出雲大社や神門通りなどで調べ学習を行った。生徒達は出雲の歴史や文化について深く学ぶことができた。当日は天候にも恵まれ、充実した研修となった。

# 作品と研究

## 小倉百人一首に思う

自分の好きな歌を選び、詠みとれた情景や心情、そして自分の思いを綴ってもらいました。

山根未唯那 (1・2歳)

君がため惜しからざりしいのちさへ

長くもがなと思ひけるかな  
藤原義孝

この歌は、男の人が女の人の人にあるためなら捨てても惜しくないと思っていた命でさえ、今となってはあなたと逢うためにできるだけ長くありたいと思っている歌です。この恋のためなら命を捨ててもいいと思っていたけれど、一度二人の思いが通じればいつそう思いがつのり、女性を愛するため、なるべく長く生きていたいことを表現していると思います。この歌を選んだ理由は、恋のためなら命を捨ててもいいというところがすごいなと思いました。でも二人の思いが通じた時、ずっとずっと長生きしたいと思えたところが素敵だなと思ったのでこの歌を選びました。

佐々木柊花 (1・2歳)

ながらへばまたこのごろやしのばれむ

憂しと見し世ぞ今は恋しき  
藤原清輪朝臣

過去に何か辛かった思いをしたことや嫌だったことも、時が過ぎれば懐かしく、そんな日々が恋しいと感

じることが多いなあと想像しました。また、今、恋しさや懐かしさを感じていることから過去に頑張った良かったと思える作品でした。

小学校の頃からバスケットをしてきて、練習が嫌になったり、上手くいかなくなったり、思い通りにいかなかったりと、辛かったことは多かったです。今となれば「あの時しっかり頑張れて良かった」という思いや懐かしいと思ったりする自分の心に少し似てるなと思ひ選びました。高校でも辛いことがあったり逃げ出したいと思うことがあるかもしれませんが、将来には楽しかったなという思いと、頑張った良かったと思えるように日々頑張ろう！と勇気付けられました。

原田このみ (1・1歳)

吹くからに秋の草木のしをるれば

むべ山風を嵐といふらむ  
文屋康秀

なぜこの歌がいいと思ったかという、大意の文を詠んで、すごく納得したとにも、とても面白いと思つたからです。また、つい最近の風景と似ているなと思つたからです。風が吹くと秋の草木はすぐにしおれていくと書いてあって、学校の外は植物が多いし、教室から見える感じと同じだな。と思いました。

そして、山風のことを「荒し」といい、文で「嵐」と書くのであろうよ。と書いてあり、山+風=嵐というおもしろい言語遊びでいいなと思いました。

最近秋が終わり、冬が近づいていて、この歌も同じような季節だったのかな、と思いました。

杉浦 大和 (11歳)

高砂のをのへの桜咲きにけり

外山のかすみたすもあらなむ  
前中納言匡房

この歌は遠い山にきれいな桜が咲き、それをささげる霞が立たないで欲しいという意味だと思えます。自分も眺めるものや目標のゴールに向かっていく時に邪魔が入らないで欲しいという思いがあつて、共感できると感じました。でもそういうことをあるの、我慢をして苦しいことを乗り越えられるようにしていきたいと思えました。

末次 陵樹 (11歳)

ちはやぶる神代もきかず竜田川

からくれなるに水くくるとは  
在原業平朝臣

僕がこの歌を選んだ理由は、「ちはやふる」という映画を見た時、登場人物が詠んでいるところを聞いたことがあるからです。

この歌の大意は(人の代はもちろん)神代にも聞いたことがない、竜田川が(流れる紅葉で)真紅の色に水をくくり染めにしていてということ。と書かれています。この歌は秋の歌です。詠んでいると竜田川面に紅葉した「もみじ」が降り注いで、川全体を真紅に染めているという景色が頭に浮かんできます。僕の家も庭にも樹齢何十年かのもみじの木があります。毎年きれいに紅葉し、庭も車も「もみじ」に包まれるので、紅葉に染まるという表現の仕方がとても美しいと思えました。

石飛 杏 (11歳)

朝ぼらけありあけの月と見るまでに

吉野の里にふれる白雪  
坂上是則

この歌を選んだ理由は、頭の中ですごくきれいな情景が思い浮かべられて、とてもいい歌だと思つたからです。夜明け方に降り積もっている白雪に、ありあけの月の光がさしているように見間違えるほどきれいだったんだなと思ひました。この歌には体言止めが使われていることが分かりました。とても詠みやすいところもこの歌の良さだと思ひました。

出雲地区絵画コンクール 入選作品

今月の1枚 「小川」

清間 実斗 (2歳)

